

9月9日は「救急の日」

お子さんが体調を崩したとき、救急車を呼ぼうか悩んだ経験がある方もいらっしゃると思います。どんな場合に救急車を呼べばいいのか、いざというときのために知っておくと安心です。

おなか

- ・激しいおなかの痛みで苦しがる
- ・嘔吐が止まらない
- ・便に血が混じっている
- ・激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、意識がはっきりしない

胸

- ・激しい咳やゼーゼーし呼吸が苦しそう
- ・呼吸が弱い

意識の障害

- ・意識がない、またはおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- ・けいれんが止まらない
- ・けいれんが止まっても意識が戻らない

事故

- ・交通事故にあった
- ・高いところから落ちた
- ・水に溺れている

飲み込み

- ・物をのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

こんなときはすぐに119番！！

顔

- ・唇の色が紫色
- ・顔色が明らかに悪い

手・足

- ・手足が硬直している

やけど

- ・痛みのひどいやけど
- ・広範囲のやけど

じんましん

- ・全身にじんましんが出て顔色が悪い

生まれて

3か月未満の乳児

- ・乳児の様子がおかしい

救急車が来るまでに準備するもの

- ・保険証や診察券
- ・母子手帳
- ・普段飲んでいる薬(お薬手帳)
- ・お金
- ・紙おむつや哺乳瓶
- ・靴 など

救急車が近づいたら

救急車は住所などをもとに現場へ向かいますが、付近の情報に詳しいとは限りません。人手に余裕がある場合は、サイレンが聞こえたら、外に出て案内をお願いします。

☆ ご予約・お問い合わせ ☆

いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」

住所: 兵庫県加古郡稲美町国安1256番地

TEL: 079-490-2064(専用電話)

FAX: 079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。



消防庁のHPIには成人や高齢者向けのリーフレットもあります。ご参考下さい。

編集: 篠田